

(3) 高知県

図4-2は、高知県のEおよびFの周辺地域における2011年4月から2012年2月中旬におけるメッシュ毎の捕獲数を示した。情報は四万十市からの提供を受けたもので、捕獲数は3次メッシュでの集計値として示されているが、隣接するメッシュの情報が中央のメッシュに代表値として示されているようである。そのため、囲いわなを設置した地点のメッシュそのものの捕獲数を求めること

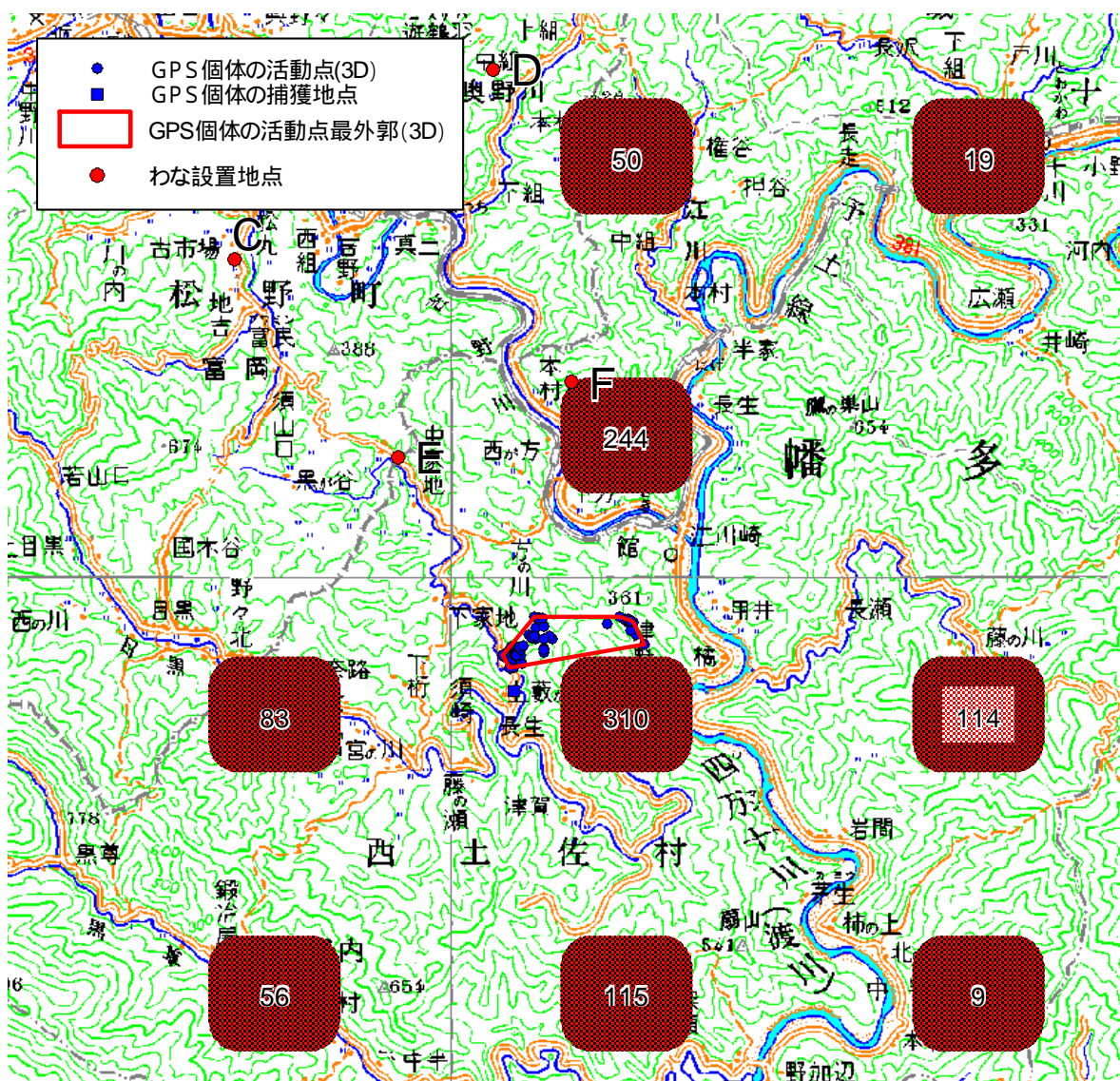


図 4-2 わなE・FおよびGPS追跡調査地の周辺地域におけるシカの捕獲数  
(2011/4月～2012/2月中旬 数値は暫定値)

はできなかった。また、GPSの追跡調査を実施したメッシュについてもメッシュ内の具体的な捕獲数の情報は得られなかった。

この情報では、わなE周辺での捕獲数は記録されていなかった。しかし、わなEは県境部にあることから、愛媛県側の情報を見ると、隣接するメッシュでは期間中に13頭と25頭の捕獲が記録されていた(図4-1)。

わなFの周辺では集計値として244頭の捕獲が記録されている。わなに近い地域で捕獲圧が高かったのかは明らかではないが、広い範囲で見ると他のメッシュと比較してこの地域は高い捕獲圧がかかっていた地域と言える。

#### (4) 香川県

図4-3に小豆島に設置したわなGおよびH周辺における3次メッシュ単位でのシカの捕獲数(2011年4月から11月末日までの暫定値の合計値)を示した。わなGの周辺地域ではわなHよりも捕獲数が多く、わなGを含むメッシュ(51345119)の捕獲数は15頭であった。

2011年度ではわなを設置していた12月~3月の捕獲数が集計されていない。そのため、参考として、2011年度のデータと合わせてわなG周辺における2010年度の年間の捕獲数を月別の集計値を図4-4に示した。



図4-3 わなG・Hの周辺地域におけるシカの捕獲数  
(数値は2011/4月~11月末の期間における暫定値)